

参加学生の声

①秋山 ひかる (地域協働専攻 国際協働グループ3年)

この度は、ソーシャルクリニック巡回型サテライト・オフィス(以下「巡回SC」)に関わり、今まで知らなかった道南地域の魅力や地域の課題に触れたことで、道南地域の活性化のために大学生が出来ることは何かと考えるきっかけとなりました。

私は巡回SCの中で2021年前期に受講していた奥平先生の「観光コンシェルジュ実習」という授業について発表をしました。この授業は、函館の観光地を調査して学生のみでコースを造成し、実際にまちあるきガイドを行うというものです。学生が地域の観光や町おこしに関わる授業の一例として、当時の服装や身振り手振りを再現するなどの実演を交えて発表をしましたが、「是非うちの町でも学生のまちあるきガイド実習をしてほしい」など、好評をいただき大変嬉しかったです。更に意見交換の場では、地域の皆さんが私に学生の率直な意見を求めるという場面も多々あり、学生ならではの視点やアイデアを地域に取り入れ活性化につなげたいという強い気持ちが感じられました。

意見交換の中で、地域課題の一つとして町の魅力を多くの人に知ってもらうこと、特に若い世代への情報発信方法を模索中であるという地域が多く、「町の魅力を伝えるための広告とは何か」、「SNSの活用法について」といった内容が話題に上がりました。檜山振興局では公式のInstagramアカウント運用、せたな町ではJRの中吊り広告のデザインやSNSのフォトコンテスト、木古内町ではマスコットキャラクターの「キーコ」を活用したYouTubeやTikTokでの町の魅力発信など、主に10代20代の若い世代へ向けたコンテンツを生み出す際に、学生のアイデアをもらいたいという提案がありました。日頃慣れ親しんで

いるSNSを使った情報発信という部分では学生の視点を大いに生かせそうであることや、地域での調査活動を通じて地域の魅力に触れることで、学生自身もさらに道南や地域活性化への興味・関心を高められると感じました。

感染症の影響で思い描いていた大学生像とは違った学生生活を送っている状況下で、大学の地域学や観光学などの講義で学んだ知識を実践してみたいと考えている学生も多くいると思います。そのような中で、道南地域で学生が主体となって地域活性化につながるような提案・実践を行うことができれば、道南地域に良い影響を作り出せることはもちろん、今までより一層大学生としての活動の場が広がると感じます。私自身も、今回の巡回SCで道南地域の市町を訪ねられたことがきっかけで、個人でも道南地域をバスで観光してみたり、道南のイベント情報をチェックしてみたりと、以前よりも道南について知りたい、観光してみたいという気持ちになりました。

今年度は実際に市町に伺い、対面での開催が叶った巡回SCに初めて参加させていただき、様々な市町の現状に触れ、さらには意見交換会に学生ながら加わらせていただくなど大変貴重な経験をさせていただきました。巡回SCで交わした意見や学生への提案がその場かぎりのものでなく、一刻も早く実現へ向かうために、私自身が出来たことをこれからも探究していきたいと思えます。また、今年度の活動を後輩へとうまく引き継ぐことで、来年度は更に充実した巡回SCになることを期待しております。ご参加いただいた皆様、大変貴重なご意見・ご提案をありがとうございました。

②杉谷友哉(地域協働専攻 地域政策グループ 2年)

私は、今年度のソーシャルクリニック巡回型サテライト・オフィスに、司会と運営の補助役として9月15日(渡島総合振興局)と11月1日(せたな町)の2回にわたって参加しました。

私は司会進行を務めながら、初めて「まちづくり」というものに触れることができました。前半に、先生方による「巡回型サテライト・オフィス」の概要説明と「観光コンシェルジュ実習」に参加した先輩学生による実習報告がありました。後半では意見交換が行われ、振興局や町からどのように大学と自治体等が連携したらよいのかという意

見や、「まちづくり」にこうした大学での実習をどのように生かしていくべきなのかといった質問があり、とても活発に議論が行われていました。1度目の参加時には話を聞くだけで精一杯でしたが、2度目の時には意見を求められた際、何とか自分の意見を発言することができ、巡回型サテライト・オフィスに参加したことで自らの成長を実感することができました。

私はこの経験を今後の大学生活に生かしつつ、地域で活躍できる人材になれるようより一層の努力をしていきたいと思っています。

③志摩祐斗(地域協働専攻 地域政策グループ 4年)

私は今回、渡島総合振興局とのソーシャルクリニック巡回型サテライト・オフィスに参加しました。そこで、「HAKODATEコンシェルジュ」養成プログラムの授業の一つである「観光コンシェルジュ実習」についてのプレゼンを行いました。プレゼンでは、実際に2021年の6月に行った谷地頭地区の観光ガイド実習のようすをご覧いただき、観光ガイド実習を行うまでにどのような取り組みを行ったのかということや、「観光コンシェルジュ実習」の今後の展望など、多くの質問をいただきました。

いただいた質問の多さから、「観光コンシェルジュ実習」への関心の高さがうかがえ、授業内にとどまらずに渡島総合振興局や函館市、その他観光団体などと協働した函館観光案内プロジェクトを行う機会があっても良いのではないかと考えました。また、附属函館中学校からは、生徒に観光コンシェルジュで得た観光ガイドの力を伝えてほしいという要望もあり、「巡回型サテライト・オフィス」は官学民がつながるきっかけとなる場であると感じました。

